

研究授業メモ

研究内容1 「目標と評価の一体化」

- ・単元目標の明確化
- ・目標と評価の位置付け

単元で身に付けさせたい資質・能力

①語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知識及び技能)

言語活動

②人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

「綾が一番影響を受けたものは何かをプレゼンしよう」

③文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思考力、判断力、表現力等)

④粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合うことができる。(学びに向かう力、人間性等)

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・登場人物の心情を捉えるときに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識している。	・心情の変化などを捉えて、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	・粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。

内容や時間のまとまりにおいて目指す児童の姿

研究内容2 「指導計画・評価計画について」

- ・単元構成の工夫 (指導計画)
- ・「形成的な評価」の充実 (評価計画)

【指導計画】

工夫

学習内容や活動によって単元を3つの段階に分け、資質・能力の育成に迫っていく指導計画を立てました。

検討 単元を3つの段階に分けたことで・・・
◆児童が学習の明確な見通しをもつことができたか。
◆資質・能力② (赤枠部) の力が高まったか。

【評価計画】

工夫

児童と評価規準を共有し、段階的に振り返りながら児童の学習改善や教師の指導改善を図る評価計画を立てました。

検討 評価規準の共有や段階的な振り返りで・・・
◆児童が単元の見通しをもち、前時までの学習を生かして本時の学習に取り組んだり、振り返りの場面で学習状況を把握したりしていたか。
◆予想されるつまずきと手立てが合致していたか。

メモ

【指導計画と評価計画のイメージ (「思考・判断・表現」に関わって)】

1, 2 (見通す)	「たすねびと」の全体像を理解する段階	思・判・表形 物語についての場面や流れを把握できているか (概要シートの記述, 見出しを付ける活動)
3, 4, 5 (捉える) (深める)	主人公「綾」の心情の変化やそのきっかけ (影響を与えたもの) についての叙述を読み深める段階	思・判・表形 表現の効果に着目しながら、「綾」の気持ちの変化に関する叙述を読み取り、自分の考えをまとめることができるか (3, 4, 5時間目のワークシートでの記述)
6, 7, 8 (まとめる) (広げる)	これまでの学習を基にプレゼンテーションを仕上げ、友達と交流する段階	思・判・表総 「綾」に最も影響を与えたことについて、叙述を基に自分の考えをまとめることができているか (スライドでの記述)

研究内容3 「個別最適な学び・協働的な学びについて」

- ・指導の個別化
- ・学習の個性化
- ・協働的な学び

単元では・・・

個別最適な学び, 協働的な学び

個別最適な学び (指導の個別化)

- ◆綾の気持ちの変化を捉えさせるために、気持ちが直接書かれている叙述、せりふや行動、視点、情景に焦点化させます。
- ◆「綾に最も影響を与えたこと」を導き出すために、あらかじめ、最も影響を与えたことを選択肢を用意します。

個別最適な学び (学習の個性化)

- ◆主に単元の後半 (第5~8時) で、主人公「綾」に最も影響を与えたことは何か教科書の心情を表す表現や叙述を結び付けて自己決定させます。それが言語活動 (プレゼン資料作成) へとつながります。

協働的な学び

- ◆自分の考えを深めたり、自発的に単元のゴールに向けて挑戦したりすることができるように、ICTを活用し、児童が必要なタイミングで叙述に関する考えの交流や他の児童のよい表現を参考にする場面を設定します。

本時では・・・

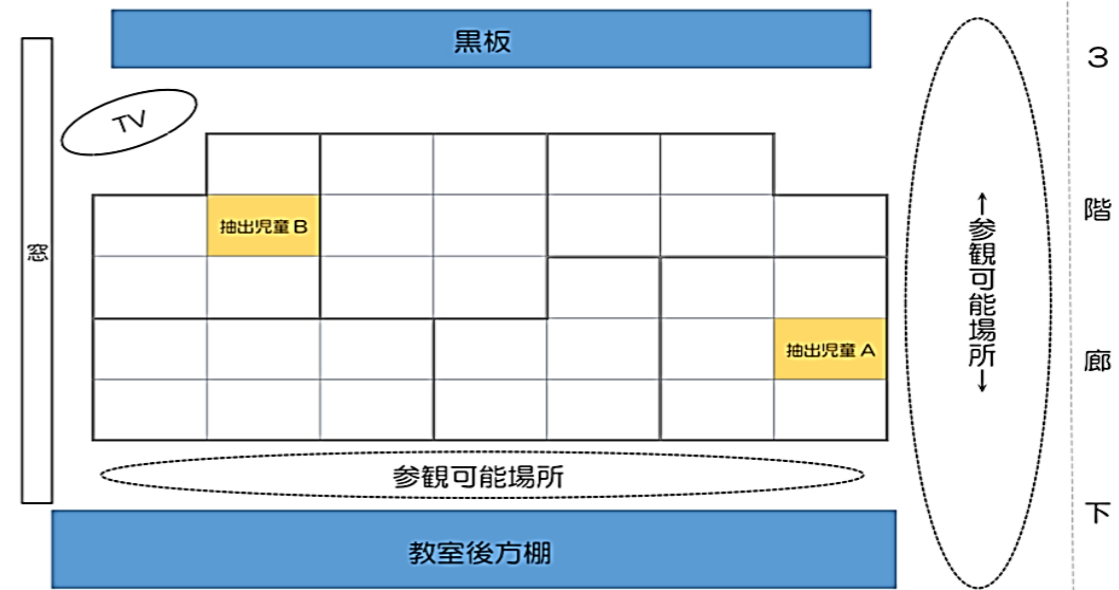
個別最適な学び (学習の個性化)

児童は、これまでの学習で、広島に行く前後の綾の気持ちを読み取っています。本時では、「何が綾の気持ちの変化に最も影響を与えたのか？」という課題解決に向けて、教科書の叙述を基に児童一人一人が綾に影響を与えたことについて、その根拠や注目するポイントを選択します。

検討

児童生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習が促される「学習の個性化」が資質・能力の育成に対し効果的に働いているか。(裏面の抽出児童の様子などから)

メモ



抽出児童の様子やワークシート

抽出児童 A

時数	1	2	3	4	5	6	7	8
学習計画	学習計画 ゴールを設定し 学習計画を たてる。	見出し 登場人物 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物
ワークシート	① 綾の登場 登場人物 登場人物	② 綾の登場 登場人物 登場人物	③ 綾の登場 登場人物 登場人物	④ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑤ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑥ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑦ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑧ 綾の登場 登場人物 登場人物

ワークシート

① 綾の登場
登場人物
登場人物

② 綾の登場
登場人物
登場人物

③ 綾の登場
登場人物
登場人物

④ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑤ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑥ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑦ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑧ 綾の登場
登場人物
登場人物

なぜ「綾」は広島に行くと思ったのだろうか?

この思いがアヤ→(アヤはアヤ) 綾の登場
登場人物
登場人物

広島に置いてから綾はどのようなこと? 綾の登場
登場人物
登場人物

綾の登場
登場人物
登場人物

綾の登場
登場人物
登場人物

抽出児童 B

時数	1	2	3	4	5	6	7	8
学習計画	学習計画 ゴールを設定し 学習計画を たてる。	見出し 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物	綾の登場 登場人物 登場人物
ワークシート	① 綾の登場 登場人物 登場人物	② 綾の登場 登場人物 登場人物	③ 綾の登場 登場人物 登場人物	④ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑤ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑥ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑦ 綾の登場 登場人物 登場人物	⑧ 綾の登場 登場人物 登場人物

ワークシート

① 綾の登場
登場人物
登場人物

② 綾の登場
登場人物
登場人物

③ 綾の登場
登場人物
登場人物

④ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑤ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑥ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑦ 綾の登場
登場人物
登場人物

⑧ 綾の登場
登場人物
登場人物

なぜ「綾」は広島に行くと思ったのだろうか?

この思いが綾の登場
登場人物
登場人物

広島に置いてから綾はどのようなこと? 綾の登場
登場人物
登場人物

綾の登場
登場人物
登場人物

綾の登場
登場人物
登場人物

抽出児童について(メモ)～予想される児童のつまずきに対する手立てが有効か～

<手立て～全体像を見つめ直す場面～>

- 注目するとよい叙述の例を複数用意しておき、活動が停滞している児童に対して提示する。
- 他の人の意見を参考にするように促す。

<手立て～「綾」に最も影響を与えたことや根拠となる叙述を探す場面～>

- 概要シートの「綾」が出会ったものを参考に選択できるようにする。
- 根拠を探せない児童に、そのものや人との出会いの場面をもう一度確認させ、線を引いた叙述に注目させる。それでも不十分な場合は、問い返したり、ワークシートや Jamboard を見返したりするように促す。
- 「綾」に関する記述を整理したものを「国語の技」フォルダに入れておく。
- 読み取りができていない児童に対して、その時の気持ちをわかりやすく伝えるために、心情メーターなどの作成を促す。
- 同じものを選んだ児童同士に交流させることで、自分の意見を具体的にしたり、他者との違いから学びを深めたりすることができるようにする。

<児童 A の様子から(メモ)>

<児童 B の様子から(メモ)>